

Corporate Social Responsibility

経営理念の追求と行動憲章の実践が、 コニカミノルタグループのCSRの基本です

CSRは経営そのものであり、コニカミノルタグループの経営の基本は、統合時に制定した経営理念である「新しい価値の創造」の追求と、「コニカミノルタグループ行動憲章」の実践であることから、これらをCSRの基本とすることにしました。

CSRの考え方の図



グローバルに適用するCSR

2006年度を起点とするグループ中期経営計画「FORWARD 08」では、「グローバルに適用するCSR」を基本方針に盛り込んでいます。そのなかで、当社グループは「信頼される企業として、経済面に加え社会面、環境面でのグローバル展開の強化による企業価値の持続的向上」を掲げ、その達成のために次の3点を進めていきます。

幅広いステークホルダー

相互信頼関係の強化

- ステークホルダー(利害関係者)との相互コミュニケーションによる持続的な信頼の構築

品質・環境経営の強化

- 社会的に有用な商品・サービスの提供を通じ、顧客満足の継続的向上と環境負荷の継続的低減

グループガバナンスの実践と継続的改善

- コンプライアンスを含むグループ内部統制の強化による透明性の高い経営の実践

社会貢献活動

● ピンクリボン運動

日本でも乳ガンにかかる女性・乳ガンで亡くなる女性が増えています。その大きな理由の1つに、乳ガンに対する知識や認識が低いことがあげられます。ピンクリボン運動は、乳ガンの早期発見・早期診断・早期治療の大切さを啓蒙する運動。コニカミノルタも乳ガンの撲滅を願って、これを支援しています。

<http://konicaminolta.jp/pr/pinkribbon>



● ランニング教室の開催

当社陸上競技部は、小学生や市民を対象にした「ジョギング教室」で講師を務めるなどの活動を行い、東京都から「平成16年度体育優良団体賞」で表彰されました。



● 移動式プラネタリウム

人々の心に夢のぬくもりを広げ、癒しのパワーを与えてくれる星空…。大都会では見る機会がめっきりと少なくなってしまった満天の星空を楽しんでいただけるのがプラネタリウムです。



1958年(昭和33年)にプラネタリウムの1号機を完成させて以来、約半世紀にわたってコニカミノルタは「星空」と「宇宙」の夢を皆さまにお届けしています。

今では日本各地の科学館・文化センター・教育施設などに導入されているほか、アメリカやアジアをはじめ海外でも活躍。天文知識の普及と理科教育に大きく貢献しています。

また、コニカミノルタは、当社製の移動式プラネタリウムを使って、各地のイベントで星座体験を提供しています。2005年度は、約1万人の方々にご覧いただきました。

当社のCSR活動に関する詳細は、別途6月下旬に発行と同時に株主の皆さまに郵送させていただく「CSRレポート」をご参照くださいますようお願い申し上げます。

コーポレートガバナンス

当社は、経営判断の迅速化・競争力の強化を図るため、持株会社であるホールディングスと事業会社・共通機能会社による「分社化・持株会社制」をとっています。

また、グループ全体の経営のスピードと透明性を高めるため、2003年に委員会設置会社制を導入しました。委員会設置会社では、取締役会のなかに固有の権限を持つ3つの委員会(監査・報酬・指名)が経営の監督などを行っており、いずれの委員会もそれぞれ過半数が社外取締役で構成されています。当社では、いずれの委員会も社外取締役が委員長を務め、また、代表執行役はどの委員会メンバーにもならないという透明性の高いガバナンス体制をとっています。

コンプライアンス

当社グループが考えるコンプライアンスは、単に国内外の法令を遵守するというだけではありません。企業倫理や社内規則類までを広く含んでいます。こうした考えのもと、「コニカミノルタグループコンプライアンス行動指針」は、グループガバナンスを貫くものとして、企業活動におけるすべての行動に対して最優先に位置づけられています。

全世界のグループ各社全従業員へコンプライアンス意識を徹底するために、世界各国で教育・啓蒙を継続しています。また、「コニカミノルタグループ行動憲章」は、9カ国語(日、英、中、独、仏、スペイン、ポルトガル、イタリア、ロシア)で発行し、全従業員に配布しています。